

評 価 基 準

評価項目	評価の観点	配点
ア 基本方針、会社概要、同種業務の実績及びセキュリティ体制について	・本市の目的やニーズを的確に捉えた基本方針や優位性のある工夫が示されているか。 ・本市規模での運用保守に十分対応できる実績を有しているか。 ・ISMS認証等の組織体制や、暗号化・サイバー攻撃に対するインフラ防御策は万全か。	15
イ システムの操作性及びインシデント(誤送信・情報漏洩等)防止策について	・不慣れな教職員でも直感的にミスなく配信できる優れた画面・操作設計となっているか。 ・誤送信を防ぐ構造上の工夫や警告機能、管理職承認ワークフロー等は有効性が高いか。 ・外部指導員等による機微情報(名前以外の欠席状況、欠席理由等)の閲覧や配信対象外の児童生徒への配信を制限する仕組み、及び教職員が校外から利用する際の機微情報の閲覧の制限や配信機能のみの利用に制限するなど、情報漏洩防止に資する機能が備わっているか。	30
ウ 連絡手段の高度化やサポート体制の拡充による利便性向上と働き方改革の推進について	・「面談日程調整機能」や外国籍の保護者に対応する「多言語機能(登録案内書の多言語出力・自動翻訳等)」、メール利用者(専用アプリケーションを不使用の者)であってもメッセージ配信の受信・閲覧、アンケート等の主要機能への回答・利用ができるなど、教職員の業務負担軽減や保護者の利便性向上につながる機能が備わっているか。 ・教職員向けの研修やマニュアル、保護者向け案内リーフレットなどの導入・初期登録等の支援策は適切か。 ・ヘルプデスクの対応時間や体制は十分か。(仕様書の必須要件である「午前9時から午後5時」を超えて、教職員及び保護者への電話対応が可能な時間帯が提案されている場合は、手厚いサポート体制として高く評価する。)	25
エ 大規模・緊急時におけるシステムの安定稼働及び負荷対策について	・本市規模の一斉アクセス集中に耐えうる負荷対策や明確な到達タイムラインが示されているか。(※同規模自治体での稼働実績がある場合は、その具体性や信頼性も併せて評価する。) ・クラウドサーバーの障害や災害に備えたデータのバックアップ体制や、早期の復旧体制が備わっているか。	20
オ 見積もりの価格について	・見積金額により評価する。	10
合計		100